# プレゼンテーション大会の過程について

戸田市教育委員会
教　育　政　策　室

# プレゼン大会でPBLの学習成果を発表

## 市制施行５０周年記念
## 戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会

今年度より、グローバル社会を生き抜くために必要な自己表現力をとだっ子に身に付けるようにするため、「戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会」を行います。
戸田市市制施行５０周年を記念して、全小・中学校の代表が、戸田のよさや、未来の戸田市のためにできることについて考えた内容を発表します。

| | |
|---|---|
| 開会行事 | １３：００～ |
| プレゼンテーション大会 | |
| 小学生の部 | １３：１５～ |
| 中学生の部 | １４：４５～ |
| 企業によるプレゼンのデモストレーション | １５：１５～ |
| 審査結果発表　表彰 | １５：４０～ |
| 閉会行事 | １５：５５～ |



### 企業によるプレゼンのデモストレーション



**菊池　裕史　氏**

2012年にグーグル株式会社入社。Google for Education 部門の日本統括責任者として事業の立ち上げ、拡大に携わった後、2016年よりソニー株式会社に 転職。ソニーでは新規事業の立ち上げを担うと共に、株式会社ソニー・グローバルエデュケーションの事業戦略ディレクターとしてグローバル事業を担当する。NPO法人 Collable の理事職を兼任。

**平成29年1月14日（土）**

新曽福祉センター　ホール　13:00～16:00（受付12:30～）

お問い合わせ　戸田市教育委員会 教育政策室（担当）☎048-441-1800(内線318)

## 平成２９年度
## 戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会

グローバル社会を生き抜くために必要な自己表現力をとだっ子に身に付けるようにするため、「戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会」を行います。
戸田市内全小・中学校の代表が、授業で行った学習の成果や学校生活の課題について考えた内容を発表します。



| | |
|---|---|
| 開会行事 | １３：００～ |
| プレゼンテーション大会 | |
| 小学生の部 | １３：１５～ |
| 中学生の部 | １４：４５～ |
| 企業によるプレゼンのデモンストレーション | １５：１５ |
| 審査結果発表　表彰 | １５：４０ |
| 閉会行事 | １５：５５ |

### 企業によるプレゼンのデモ



竹

インテル株
Intel Te

日立製
進を担当
現在、
世紀型ス
一人1台
教育推進

平成３０年１

戸田市文化会館　大ホー

お問い合わせ　戸田市教育委員会

## 平成３０年度
## 戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会

グローバル社会を生き抜くために必要な自己表現力をとだっ子に身に付けるようにするため、「戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会」を行います。
戸田市内全小・中学校の代表が、授業で行った学習の成果や市民生活における課題について考えた内容を発表します。



| | |
|---|---|
| 開会行事 | １３：００～ |
| プレゼンテーション大会 | |
| 小学生の部 | １３：１５～ |
| 中学生の部 | １４：３５～ |
| 企業によるプレゼンの | １５：０５～ |



ン

：00（受付12:30～）
048-441-1800(内線３１８)

## 令和４年度
## 戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会

これからの社会に必須となる「プレゼンテーション力」をとだっ子たちに育むため、「戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会」を行います。
戸田市内全小・中学校の代表が、授業で取り組んだ課題解決型学習（※PBL）において、実行した解決策の効果をより一層高め、課題解決にさらに近づくために、「大会の観覧者に具体的に行動して欲しいこと」の提案・プレゼンテーションをします。

※Project Based Learningの略



| | |
|---|---|
| 開会行事 | １３：００～ |
| プレゼンテーション大会 | |
| ・小学生の部 | １３：１５～ |
| ・中学生の部 | １４：４５～ |
| 企業によるプレゼンのデモンストレーション | １５：２５～ |
| 審査結果発表　表彰 | １５：５０～ |
| 閉会行事 | １６：０５～ |



### 企業によるプレゼンのデモンストレーション



**竹内　明日香　氏**

一般社団法人 アルバ・エデュ代表理事
一般社団法人 未来の先生フォーラム理事
NRS株式会社社外取締役
音羽の森オークストラ「ポコアポコ」主宰

■プロフィール
東京大学法学部卒業。日本興業銀行(現みずほ銀行)にて国際営業や審査等に従事後、独立し海外投資家向け情報発信や日系企業のプレゼン支援を提供して今日に至る。2014年、子どもの「話す力」の向上を目指す一般社団法人アルバ・エデュを設立し、授業やセミナーを展開、2022年10月現在48,000人が受講。2020年のコロナ禍を機に「オンラインおうち学校」を開始。2022年現在、話す力を育むプログラムを12の自治体に導入している。2022年5月にすべての子どもに「話す力」を上梓。

**令和５年１月２８日（土）**

戸田市文化会館　大ホール　13:00～16:30（受付12:30～）
※新型コロナウイルスの感染状況等により、時間・場所・開催方法等が変更になる可能性がございます。

お問い合わせ　戸田市教育委員会 教育政策室（担当）☎048-441-1800(内線3362)

## 令和６年度
## 戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会（戸田型PBL発表会）

これからの社会に必須となる「プレゼンテーション力」をとだっ子たちに育むため、「戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会」を行います。
戸田市内全小・中学校の代表が、授業で取り組んだ課題解決型学習（※PBL）において、実行した解決策の効果をより一層高め、課題解決にさらに近づくために、「大会の観覧者に具体的に行動して欲しいこと」の提案・プレゼンテーションをします。

※Project-Based Learningの略

| | |
|---|---|
| 開会行事 | １３：００～ |
| プレゼンテーション大会 | |
| ・小学生の部 | １３：１５～ |
| ・中学生の部 | １４：４５～ |
| 企業によるプレゼンのデモンストレーション | １５：２５～ |
| 審査結果発表　表彰 | １５：５０～ |
| 閉会行事 | １６：０５～ |





**令和７年１月２５日（土）**

戸田市文化会館　大ホール　13:00～16:30（受付12:30～）

お問い合わせ　戸田市教育委員会 教育政策室（担当）☎048-441-1800(内線3320)

## 令和元年度
## 戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会

グローバル社会を生き抜くために必要な自己表現力をとだっ子が身に付くようにするため、「戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会」を行います。
戸田市内全小・中学校の代表が、授業で行った学習の成果や市民生活における課題について考えた内容を発表します。



| | |
|---|---|
| 開会行事 | １３：００～ |
| プレゼンテーション大会 | |
| 小学生の部 | １３：１５～ |
| 中学生の部 | １４：４５～ |
| 企業によるプレゼンのデモンストレーション | １５：２５～ |
| 審査結果発表　表彰 | １５：５０～ |
| 閉会行事 | １６：０５～ |



### 企業によるプレゼンのデモンストレーション



**小池　紗也香　氏**

株式会社キャリアリンク プロジェクト統括マネージャー
・キャリア教育コーディネーター
・Intel(R)Teachプログラム シニアトレーナー

■プロフィール
2011年　株式会社キャリアリンク 入社。
企業による公教育支援に特化したコンサルティング事業部において、企業リソースを生かした中高校の授業カリキュラム・教材作成、授業コーディネートに携わる。Intel(R)Teachをはじめとする教員研修プログラムの企画・運営、講師を務め、社内では国内外の教育動向研究や省庁プロジェクトの実証等を主に担当。2016年度より戸田市マスターティーチャー研修およびPBL研究委嘱校等での校内研修を担当。

**令和２年１月２５日（土）**

戸田市文化会館　大ホール　13:00～16:30（受付12:30～）

お問い合わせ　戸田市教育委員会 教育政策室（担当）☎048-441-1800(内線３１８０)

## 令和
## 戸田市小・中
## プレゼン

**令和３年１月１６日**

グローバル社会を生き抜くために必要
ため、「戸田市小・中学校児童生徒プ
戸田市内全小・中学校の代表が、
めの提案について考えた内容を発表し

| | |
|---|---|
| 開会行事 | １３：００ |
| プレゼンテーション大会 | |
| 小学生の部 | １３：０５ |
| 中学生の部 | １４：２５ |
| 企業によるプレゼンのデモンストレーション | １５：００ |
| 審査結果発表 | １５：２５ |
| 閉会行事 | １５：３５ |

### 企業によるプレゼンのデモ



川村

株式会社CO
・代表取締
・教育デザイ

■プロフィール
大学卒業後、（株）リクルートコミュニケーションズ勤務を経て、2016年に余部にて「放課後教室studio あお」を創業。「10歳の社会人を育てる」をコンセプトに、小・中学生が自身のやりたいことを自由に探究していく「教科を教えない学習塾」として、様々なメディアから注目を集める。
また、寺社仏閣と連携したテクノロジー教育「寺子屋LABO」、立命館大学と連携したプロジェクト型学習教室「ムタジオアル」、SoftBank社と連携したPepperプログラミング講座他、教育事業起ち上げ支援や教育コンテンツ開発なども幅広く手がける。

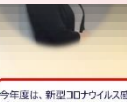
・今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、関係者限定の「Youtubeライブ配信」による完全オンライン開催となります。
・対象は、戸田市内の児童生徒及びその保護者様、戸田市教育委員会関係者に限定しております。
・視聴を希望される方は、件名に【プレゼン大会視聴希望】、本文に「御所属・氏名・メールアドレス」を御記載の上、下記メールアドレス宛にお申し込みください。※締切：1/13（水）

申し込み先　戸田市教育委員会 教育政策室（担当）
Mail：kyo-seisaku@city.toda.saitama.jp

## 信のお知らせ】
## 中学校児童生徒

をとだっ子たちに育むため、
行います。
課題解決型学習（※PBL）
解決にさらに近づくために、
プレゼンテーションをします。
※Project Based Learningの略





2014年に（株）新門力を設立。千葉県6拠点で展開する民間学童ナナカラのプロデュースや流山市との「女性向け創業事業」を行う。
2016年にはシェアサテライトオフィス「Trist」を展開し、オープン。テレワーク推進賞などの表彰を受け、メディアにも数多く取り上げられている。
2018年に「教育にエンターテイメントを！」との想いでお笑い養成所に通う。
2020年から余民県生駒市の教育指導課教育改革担当としても活動。

・今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、1月22日（土）に戸田市文化会館で開催されるプレゼンテーション大会の現地参観の人数を市内の大会関係者に制限します。
・そのぐわり、戸田市教育委員会の関係者限定で、2/7（月）～2/13（日）の期間、大会の様子をYouTubeにてアーカイブ配信いたします。
・視聴を希望される方は、件名に「プレゼン大会視聴希望」、本文に「御所属・氏名・メールアドレス」を御記載の上、下記メールアドレス宛にお申し込みください。※締切：1/14（金）17:00

申し込み先　戸田市教育委員会 教育政策室（担当）
Mail：kyo-seisaku@city.toda.saitama.jp

※新型コロナウイルスの感染状況等により、配信内容が変更になる可能性がございます。

## 令和５年度
## 戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会

これからの社会に必須となる「プレゼンテーション力」をとだっ子たちに育むため、「戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会」を行います。
戸田市内全小・中学校の代表が、授業で取り組んだ課題解決型学習（※PBL）において、実行した解決策の効果をより一層高め、課題解決にさらに近づくために、「大会の観覧者に具体的に行動して欲しいこと」の提案・プレゼンテーションをします。

※Project Based Learningの略

| | |
|---|---|
| 開会行事 | １３：００～ |
| プレゼンテーション大会 | |
| ・小学生の部 | １３：１５～ |
| ・中学生の部 | １４：４５～ |
| 企業によるプレゼンのデモンストレーション | １５：２５～ |
| 審査結果発表　表彰 | １５：５０～ |
| 閉会行事 | １６：０５～ |





**令和６年１月２７日（土）**

戸田市文化会館　大ホール　13:00～16:30（受付12:30～）
※新型コロナウイルスの感染状況等により、時間・場所・開催方法等が変更になる可能性がございます。

お問い合わせ　戸田市教育委員会 教育政策室（担当）☎048-441-1800(内線3320)

# 令和７年度戸田市小・中学校プレゼンテーション大会
# （戸田型PBL発表会）

## 大会趣旨

・児童生徒が成果発表の機会を通して達成感や自己効力感を味わうと共に、今後の学校生活及び社会生活における課題発見、課題解決につなげる。

・児童生徒が各校の発表を聞き合うことを通して、互いのプロジェクトのよさを学び合う。

・児童生徒が、大会を通じてこれからの社会に必須となる「プレゼンテーション力」を育んだり、そのよさや重要性、ポイントなどを理解したりする。

令和７年度プレゼンテーション大会実施要項「１．趣旨」

# 令和７年度戸田市小・中学校プレゼンテーション大会（戸田型PBL発表会）

## プレゼンテーションの内容

＜小・中学校共通＞
授業内で取り組んだＰＢＬ等において、実行した解決策の効果をより一層高め、課題解決にさらに近づくために、「大会の観覧者に具体的に行動して欲しいこと」の提案・プレゼンテーション
（例：〇〇を実践して欲しい、〇〇に協力・援助して欲しい、〇〇を広めて欲しい、〇〇を一緒にして欲しい、〇〇を検討して欲しい等）

令和７年度プレゼンテーション大会実施要項「７．内容」

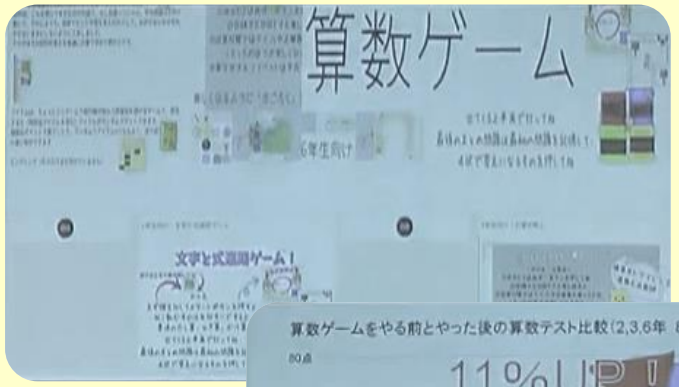
✕アイデアを考えただけで、誰かやってください
〇何かしら取り組んでいる中でどうしてもここの部分で手を貸して欲しい

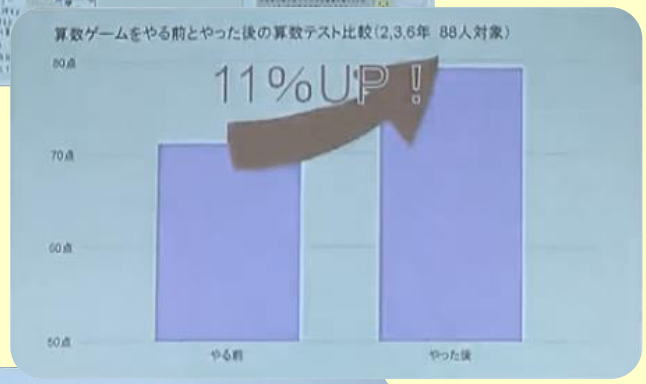
✕他校と勝ち負けを競う場
〇自分たちのプロジェクトを前に進めるための手段の場

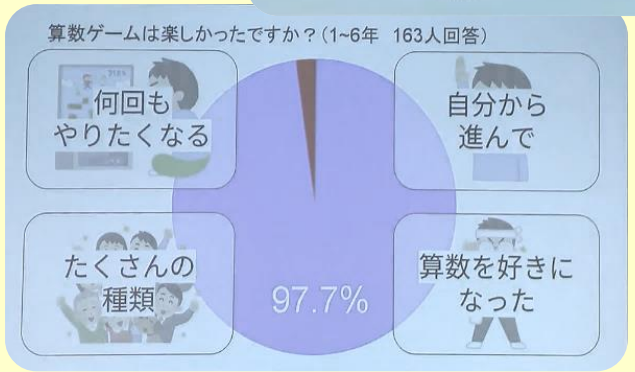
# 昨年度大会の金賞校および取組の紹介

## 小学校の部：新曽小

『算数ゲームで新曽笑楽幸に』

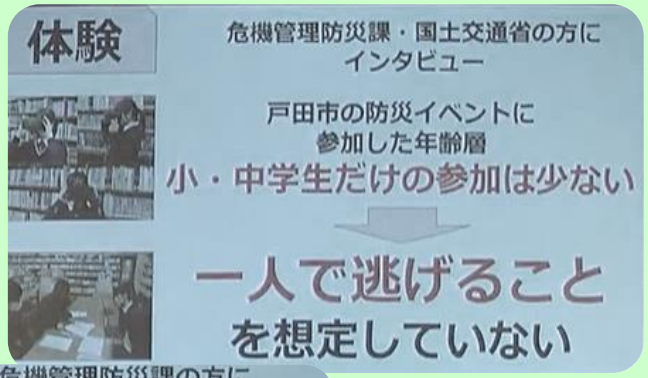


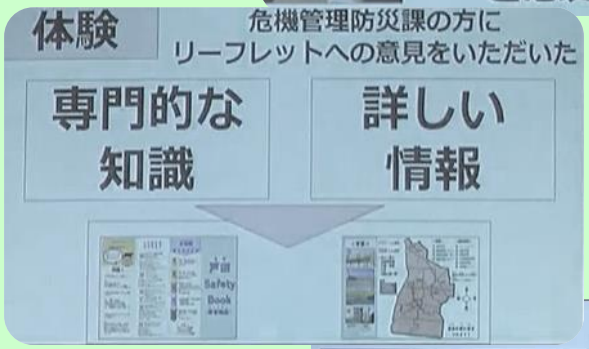



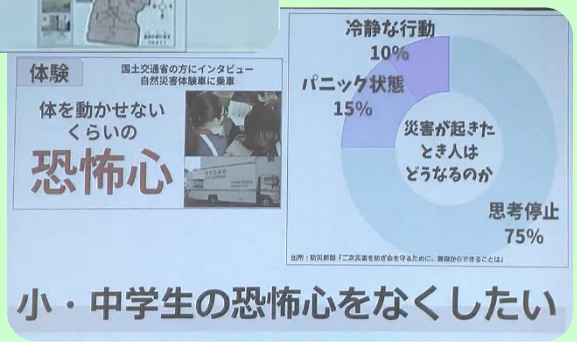




## 中学校の部：新曽中

『災害時一人でも冷静に行動するために
～正しい知識があなたを守る



# 大会の様子


戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会（戸田型PBL発表会）
算数ゲームで
新曽笑楽幸に




戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会（戸田型PBL発表会）
大切な言葉を赤字にしていて分かりやすい！
クイズ形式で読みたくなり楽しく学べる！
Safety Book
側溝の意味が分からない
→側溝の写真を入れた
文字が多くて見にくい
→大切な情報だけ残して文字のサイズや色を工夫した
出所：新曽小学校・新曽北小学校・戸原小学校の小学四年生113人にGoogleフォームでアンケート


戸田市小・中学校児童生徒プレゼンテーション大会（戸田型PBL発表会）

# 大会ルーブリック

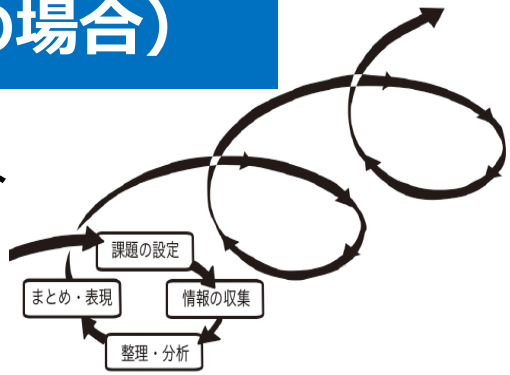
| 得点 / 項目 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|---|---|---|---|---|---|
| プレゼンの目的と手段の有効性 | 「どの聞き手にどうなって欲しい、何をして欲しい」などのプレゼンの対象と目的が明確で、 | | | | |
| | 対象となる聞き手の行動を促すための効果的なメッセージと仕掛けが両方あった | 対象となる聞き手の行動を促すための効果的なメッセージ、もしくは仕掛けがあった | 対象となる聞き手の行動を促すためのメッセージ、もしくは仕掛けはあったが、効果的ではなかった | 対象となる聞き手の行動を促すためのメッセージも仕掛けもなかった | |
| プロジェクトの活動難度 | 新しい知識・情報・スキル・人・物などのリソース（資源）を獲得するために | | | | |
| | チャレンジや試行錯誤をしながら活動し、さらに創造性や独自性のある解決策も生み出していた | チャレンジや試行錯誤をしながら活動していた | 活動し、さらに創造性や独自性のある解決策を生み出していた | 活動していた | |
| プロジェクトの実行・成果レベル | 課題に即した解決策を実行し、 | | | | |
| | 一定以上の成果を上げ、さらに客観的検証を通じ、新たな課題や改善策を見い出していた | 一定以上の成果を上げていたが、客観的検証は行われていなかった | 成果はあまり上がっていなかったが、客観的検証を通じて、新たな課題や改善策を見い出していた | 成果はあまり上がっていなかった。また、客観的検証も行われていなかった | |
| 論理性 | | 主張や活動したことなどに明確な根拠や理由があり、聞き手を論理的に納得させる工夫が | | | |
| | | 見られ、「論理的に間違いなさそうだ」と思うほどの納得感があった | 見られ、「論理的にある程度正しそうだ」と思うほどの納得感があった | 見られ、「論理的に一部は正しそうだ」と思うほどの納得感があった | 見られたが、納得感がほぼなかった |
| 共感性 | | イメージを膨らませるなどさせて、聞き手に共感をもたせる工夫が | | | |
| | | 見られ、「協力したい」と思うほどの共感を生んでいた | 見られ、「応援したい」と思うほどの共感を生んでいた | 見られ、「気持ちが分かる」と思うほどの共感を生んでいた | 見られたが、共感をほぼ生んでいなかった |
| スライド表現 | | スライドの文字、写真、映像などが | | | |
| | | 見やすく、内容も分かりやすく、かつ好感や強い印象も残った | 見やすく、内容も分かりやすかった | 見やすいが、内容が分かりにくかった | 見づらかった |
| 音声表現 | | 話す声、話す言葉、音声などが | | | |
| | | 聞きやすく、内容も分かりやすく、かつ好感や強い印象も残った | 聞きやすく、内容も分かりやすかった | 聞きやすいが、内容が分かりにくかった | 聞きづらかった |

# 年間の流れ

| 時期 | 児童生徒の学習活動 | 教師向け研修等 |
|---|---|---|
| ４月 | 〈４月～１２月〉<br>総合的な学習の時間において<br>課題解決学習（PBL）を実施 | プレゼンテーション研修<br>・プレゼンテーションとは<br>・ルーブリックについて |
| 夏 | ●以下のサイクルを２,３回行う<br>課題設定→情報収集→整理・分析<br>→まとめ・表現→検証・振り返り<br>→新たな課題設定 | PBL研修会<br>・PBLの基本的な考え方等<br>  |
| １２月 | 各校において代表児童生徒の選考<br>※代表は発表練習等の開始(～当日) | |
| １月 | ・発表用スライドの完成 | スライドの内容の確認・修正<br>（著作権・商標等） |
| | **プレゼンテーション大会** | |
| ～３月 | ・学習の継続<br>・成果のまとめ、振り返り | |

# PBLの学習例（３サイクルの場合）

（例）学校改善プロジェクト
**学校の課題を解決しよう！**






## １サイクル目

**＜課題の設定＞**
どうしたら学校の課題が分かるか？

**＜情報の収集＞**
学校にどのような課題があるのか、アンケートを取って現状を把握した。

**＜整理・分析＞**
アンケートを整理した結果、「トイレが汚い」という課題が一番多かった。

**＜まとめ・表現＞**
トイレが汚いことに取り組む理由をクラスで発表した。

## ２サイクル目

**＜課題の設定＞**
トイレをきれいにするにはどうしたらよいのか？

**＜情報の収集＞**
トイレが汚れる原因を調べるために、現場に張り込んで観察した。

**＜整理・分析＞**
清掃の様子や利用者の使い方から、トイレが汚れる原因を分析した。

**＜まとめ・表現＞**
利用者の使い方が原因だと、クラスで発表した。

## ３サイクル目

**＜課題の設定＞**
トイレをキレイに使ってもらうにはどうしたらよい？

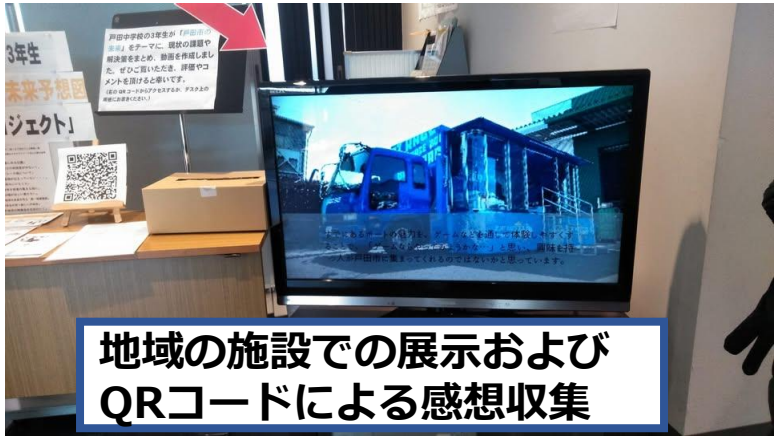
**＜情報の収集＞**
汚れる場所や日時、汚れの種類や利用者の行動等を調べた。

**＜整理・分析＞**
汚れの原因を整理し、利用者の足を置く位置が原因だと分析した。

**＜まとめ・表現＞**
和式便座の座る位置に足跡マークを設置した。

これらの取組をプレゼンテーションする資料を作成

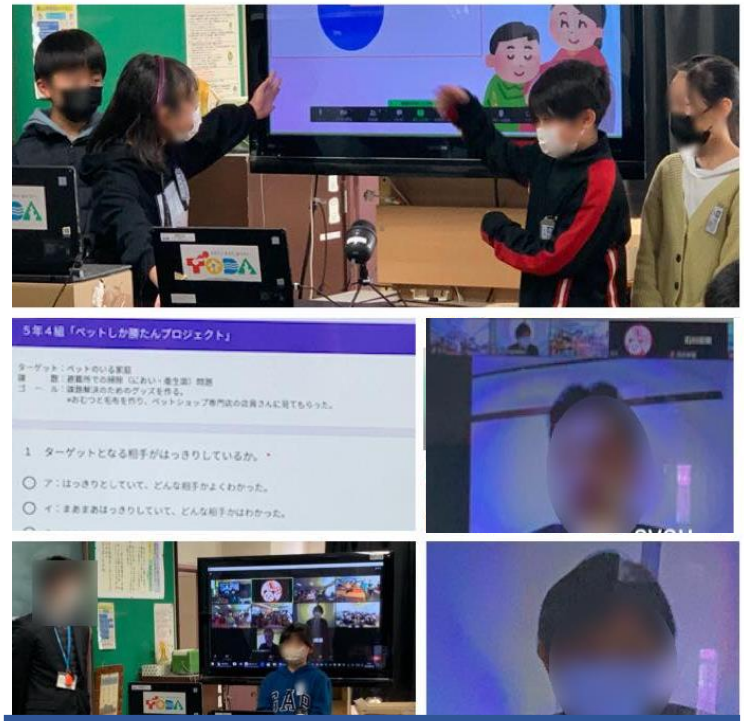
# フィードバックの収集による活動の改善・課題の再設定



地域の施設での展示および
QRコードによる感想収集



地域の方に成果物を見てもらい感想や助言を得る



オンラインやフォームを用いた
企業の方々からのフィードバック



街頭での活動



フィードバックをもとにした
改善点の整理と課題の再設定

# 大会当日に向けた流れ（例）

## ①校内代表の代表選出（～１２月）

- ２～３サイクルを終えた学習成果発表のタイミングで実施
- 学級代表の選出→学年内で代表の選出の流れが多い
  （校内大会形式として学年の児童生徒が参加）
- 管理職や校内の教職員が参加したり、学校運営協議会の方を招待して行ったりする学校もある

## ②（代表）選考時のフィードバックを基にしたプレゼンのブラッシュアップ

- 学級担任等の助言
- 完成したスライドは市教委の内容確認を経て最終スライドに（著作権・商標等）



校内プレゼンテーション大会（中学校の例）

## ③（代表）大会当日の発表

# 今後の課題および展望

【プレゼンテーションの質の向上】

　開催当初は身振り手振り等、表現を重視したプレゼンテーションが散見されたが、内容を聞き手に届けることに重点を置いた取組へと変化してきている。

　今後とも目的や手段を明確にし、プロジェクトの過程から得た思いを聞き手に届けることを重視した取組となるよう、指導や伴走をしていくことが求められる。